

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年3月2日

事業所名： ZFNIBAKO Brave

保護者等数 6名（児童数7名） 回収数7 割合 100%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者様からの ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	80%	20%				児童定員数1日10名に対し、必要面積・設備を確保している。また、活動ごとのスペースを設け、適正に確保をしている。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	90%			10%	発達支援の資格というものがあるのか。「専門性」を持った職員が何名いるのかが不明。	職員の専門性について、定期的に開催されている外部研修へ必要に応じて参加することで任用資格修了、内部研修での事例共有や講習の実施により、日々の向上を目指している。今後も継続していく。次年度に向け職員紹介を行い安心感を持ってもらう。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%					走る・机作業・玩具で大まかにスペースを確保し、子どもの自由度を考慮した空間を提供している。壁面や支援ボードを掲示して、視覚からの情報を意識している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%					日々の清掃・消毒を徹底し、各所に消毒液を設置している。活動ごとに空間分けしている。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%					関係機関との連携を深め、連携シートの活用をして行き、現状維持で継続する。一部関係機関においては、頻繁な連携が困難であるため、今後どういった形で関わっていくか検討する。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの児童発達支援の提供すべき支援の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%					サービス提供記録やモニタリングなどを通して、保護者及び関係機関との情報共有をこまめに行いながら、現状維持で継続する。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%					日会議・療育会議で振り返りと次の一手を明確にしている。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%					設定療育・自由選択療育の2パターンに分け、担当振り分けをして活動している。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	70%	20%		10%		行事によっては今後検討していくが、1日の提供時間が短いことと、コロナ禍により外部との不急の接触を避けるため、事業所内提供を中心に活動していく。
保護者 への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					現状維持で継続する。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%					現状維持で継続する。
	12	保護者に対しての家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	90%			10%		サービス提供記録項目に（ペアレントトレーニング）要素を取り入れている。その他個々の成長や課題に応じて都度支援道具や資料などを提供していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていくか	100%					サービス提供記録・LINEを最大限に活用し、継続して情報共有を意識していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	保護者様からの ご意見	ご意見を踏まえた対応
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%					サービス提供記録・LINE・通話・支援会議等を通し、継続して関わっていく。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の連携が支援されているか	20%	70%	10%		保護者同士の連携の必要性は特段感じていません。	コロナ感染症鎮静化の頃合いをみて、アンケートによる希望を募り、時期調整や父母会内容のご案内をさせていただく予定。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%					その日の相談はその日のうちに協議、内容によっては期日を設けて返答・解決することの徹底を今後も継続していき、子どもと保護者の負担を軽減していく。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%					現状維持で継続する。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%					年2回のお便り、LINEでの情報共有・月1の活動カレンダーは次年度も継続して実施。年度始めに年間行事予定を配布し、タイムリーな情報提供に努める。特段回答を必要としないお知らせについては、今後PDFでの伝達を取り入れていきたい。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	60%	40%			Braveファイルのカバンへの入れ間違い（他の子が時々入っている）が気になります。	利用者に関するデータや書類は事業所2階の保管棚での保管・持ち出し厳禁、やりとりは全て事業所専用携帯にて行い、個人が特定されるものが外に出ない配慮を継続していく。事業所ファイルの取り扱いについて、再度職員間での認識を統一し、個人物を扱うことの重要性の意識を高めていきたい。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	60%	40%				各種マニュアルを備えており、職員間での共有・併せて内部研修にて事例と対応についての共有確認を実施している。安心して事業所利用を頂けるよう、保護者に対して今後、必要に応じて書面もしくはPDF伝達にて、事業所に関する情報提供を積極的に行っていく。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているか	60%	40%				事業所として年2回以上、災害を想定した訓練を実施している。次年度も年間行事予定表での時期開示と、その都度LINEにて実施案内と様子の共有を予定。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				保育園よりもBraveでの活動の方が楽しいようです。	子どもたちが「楽しかった。明日も行きたい」と思える事を方針としている。危険なことや注意が必要なことは強調して伝えつつも、「どうすれば楽しく実践できそうか」を考え関わっていく。子ども・保護者の意見を真摯に受け止め、頂いたご意見をもとに都度対応し、より良い療育を目指していく所存。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%				とても満足しています。いつもありがとうございます。	いつもご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行って頂き、その結果を集計したものです。